

先生教えて～

どんな体育的行事をやっていますか？

なんだか知らないが、学校がどんどん多忙化しています(ような気がします)。だからなのか、学校行事は、整理統合され、縮小・簡素化されています。子どもたちは、ますます教室の中に押し込められ、無味乾燥された「知識」をただただ伝達されている状況ではないでしょうか。こんなときこそ、体育的行事で盛り上がりたい！ いつの間にかさりと流されている体育的行事に光をあて、子どもたちの学校生活に潤いをもたらせたいものです。

スポーツ伝説

本校では、昨年度より体育委員会主催で、「北小スポーツ伝説」を始めました。これは、いろんな競技にチャレンジし、優勝した人が、伝説王に輝くという企画です。昨年は、2年生で伝説王に輝いた子もおり、いっそう盛り上がりました！

どんなふうに進めているかと言えば、スポーツといえそうな種目を、体育委員が毎日1つずつ玄関に張り出します。それを見て、出場しようと思ったら、エントリー箱にエントリーをします。昼休みに、集合場所に集まり、競技説明を聞き、競技をします。優勝者は、「伝説記」という伝説だよりに顔写真と記録が掲載され、全校に配布されます。

体育委員のメンバーは、1年生でも伝説王になれそうな競技や高学年にしか伝説王になれない競技などを、あれこれ考えて、企画をします。伝説を盛り上げようと、放送委員会もお昼の放送などを通して、広報活動を始めました。ほかには、「のぼり棒伝説」や「50m走伝説」、「腕ずもう伝説」など、毎回おもしろい企画を考えてくれています。



「くつとばし」伝説の競技の様子



「一輪車」伝説の競技の様子



「紙飛行機」伝説の競技の様子

すもう大会

体育委員会では各学期ことぐらいのペースで「〇〇大会」を企画しています。すもう大会は、各学年ごとに希望者を募って、トーナメント形式で行います。参加人数は多い学年でも15人程度(3クラス中)になります。ほとんどが男子の参加ですが、2・3年生では女子の大会も成立します。土俵は砂場で行います。俵はつなひきの綱を使います。ハンドマイクを使って呼び出しを行い、塩をまいて雰囲気盛り上げます。掲示板には試合結果を発表しておきます。

「すもう」の良いところは“まわりで見ている雰囲気”です。二人の動きに「お～」「あーっ」と歓声があがります。そして勝った人にも負けた人にも拍手が自然に起こってきます。昔の人はこうやって楽しんでいたんだろうなと思える大会です。まさに運動文化がここにあると感ずることが出来ます。まわりで見ている人はもちろん、すもうはとりません。しかしその場で時間や空間を共有することこそがとても有意義なことであると思えます。

マラソン大会

どこでもそうかもしれませんが、3学期の体育は持久走・なわとび・サッカーに取り組んでいます。そして、持久走では前任校も、現任校でもペースランニングをやっている先生が多くいます。市教研の体育部でも取り組んでいるからなのですが、（でも同志会のやり方がペースになっているような気がします。）持久走の仕上げとしてマラソン大会を企画する学校がたくさんあります。

コースは校区を走ったり、近くの公園を利用することが多いのですが「前任校のマラソン大会は僕自身とても大好きでした。というのは、前任校では規模が小さいということで、たてわり活動を活発に行っていました。（掃除は6年生が班長となり、たてわり班で毎日行っています）そのため、全員が他学年の応援もしていました。」

低学年の子ともたちの「班長がんばれ！」や「あっ班長の友だらや！」という声で励まされ、ペースが落ちていたのが持ち直したり、普段の練習でも苦手に行っている子が「班の一年生に馬鹿にされたらいややから」と休み時間に練習している姿は、とても微笑ましいものがありました。そんな姿をととても良く見かけることができ、「ホッ」とできる時間がとても多いマラソン大会です。
